

1.部落全員教育に熱情をかたむけ、特に集会室、教員住宅新築のためには36万円を支出し、更に運動場新設のため18万円の協力をしている。

2.更に児童生徒の就学奨励のため、特に冬期にあっては除雪、かけ橋の修理、悪道路になやむ児童、生徒の通学への協力など部落民が一団となって協力している。その実績はまことに大きいものがある。

E 第9回福島県文化功労賞

芸術（洋画研究と美術教育）

飛田昭喬 教員 男 66才

旧田村郡三春町大字富沢字砂田19番地

飛田氏は、旧田村郡石沢村に生れ大正4年本県師範学校卒業、大正10年東京美術学校を卒業し以来、本県師範学校、田村高等学校長を歴任した。この間、本県洋画界の先駆者として、本県美術教育の振興に大きな寄与をなした。

美術学校卒業制作の「眠れる児」は帝展第3回に本県人として初入選し以来、各種の公募展に入選している。

昭和4年福島県美術協会を設立して公募展を開催し、あるいは中央の大家を招へいして美術を普及し、名作展を開催して県下の美術教育の向上に寄与する等先駆的な役割を果した。

福島県美術協会展は本年で第28回を迎える歴史は全国にもまれである。さらに県総合美術展にはじめから審査員運営委員としてたずさわりその貢献もまた大きい。

人文科学（地方史研究）

広瀬敏 無職 女 72才

相馬郡鹿島町字大河内57番地

広瀬敏女史は、熊本県生れ日本女子大卒業後、当時の東京帝国大学の聽講生として日本史を専攻、その後教職にあり結婚後著述家として活躍した。昭和21年本県原町市石神に疎開し、婦人青少年教育に尽力し、地方文化運動を推進し、また二宮尊徳ならびにその高弟富田高慶を研究して著書を刊行した。

現在執筆中の「相馬藩における二宮御仕法の研究」は相馬藩の窮乏を救った二宮尊徳ならびに富田高慶の庶民政策が相馬・双葉郡下に施行されて大いに効果をあげた史実を史料を探訪して編さんしている大事業でその成果は本県史のみならずわが国の社会経済史に大きな貢献となるであろう。著書に

イ、愛のあしあと（ナポレオンの母伝）

ロ、荒木田麗女著書考、更科目記について

ハ、松陰先生にゆかり深き婦人

ニ、日本叢書索引

ホ、日本婦人の道

ヘ、恋愛、結婚、生活

ト、青年と文化

チ、人間二宮尊徳

リ、未来の足音

ヌ、二宮尊徳の高弟富田高慶

ル、増訂日本叢書索引

F 社会教育施設並びに関係団体表彰

◎公民館 2館

相馬 小高町公民館 館長 志賀俊夫
昭和24年開館以来、組織機構を確立し着実な歩みを統計立案案、実施において民主的であり公民館研究集会の開催により住民の理解と協力を高め各種出版物の活用各学級の運営、新生活運動の推進にも効果をあげている

双葉 大熊町公民館 館長 西名清
昭和25年開館以来、地域住民の組織化に努力し各種学級の開設と体育指導委員会の活動には多大の効果をあげている。施設設備は大規模ではないが、まとまっており農村公民館の活動としてはモデル的である。

◎青年会 2団体

石川 玉川村泉青年団 大竹寿雄
明るい村づくりを目標に郷土産業の振興をはかるための生産学習、家庭生活の合理化をはかるための新生活運動の推進に努力し多大の効果をあげている。

東白川 塙町植田青年会 吉成正大
地域の実態調査をもとに農業技術、食生活の改善、新生活運動に関する事業を継続的に行ない、地域婦人会、農協婦人部との連携を密にし新しい農村建設の推進力になっている。

◎婦人会 2団体

双葉 浪江町菊野婦人会 長浜文子
学習活動をよくし地域社会の生活文化の向上への貢献がきわめて大きい。文部省委嘱婦人学級推進の母体としてその成果にみるべきもの多い。

田村 三春町三春婦人会 古宮ヒサ
適切な計画による会員の自主的活動が続けられた調査に基く実践活動の成果は見るべきものがあり、常に田村管内の婦人団体活動の推進力となっている。

◎PTA 5団体

安達 安達村立油井小学校父母と教師の会
会長 服部寅蔵

昭和23年10月結成以来PTAの本質的活動を続けて学校教育を助成し教材教具、施設の充実、環境の整備に努力し交通安全隊部落懇談会を中心として校外補導につくしPTA文庫両親学級など成人教育が盛んで学区一丸の活動を統けている。

南沼 河沼郡湯川村立笠川小学校父母と教師の会
会長 高倉好美

昭和22年1月結成民主的運営をもって会員の教養活動と地域環境、学校環境の整備をはかり学校給食、校外の生活補導に特記すべきものがありPTA本来の使命を実践している。

県立会津高等学校父母と教師の会

会長 柏木信一郎

学校の努力目標を理解し協力することを主目的として生徒の実力養成、校外補導に力をそそぎ会員の成人学習も活発でPTA新聞の発行、地区活動によるすぐれた効